

0920 | 絵画 I

4 単位（通信授業 2 単位、面接授業 2 単位）

三浦明範教授、赤塚祐二教授、遠藤彰子教授、樺山祐和教授、阿部英幸講師、伊藤仁講師、大家泰仁講師、加藤健二講師、清水健太郎講師、瀬島匠講師、山本明比古講師、吉川民仁講師

授業の概要と目標

静物を描く。

物の見方や造形の考え方を学ぶ上で、最も普遍的なモチーフに静物がある。初めは、食物、植物の自然形態や器物等により、モチーフの造形的性格や意味を知り、また相互の組立てや構図構成を心ゆくまで追求することができる静物画を学ぶ。

通信授業、面接授業を通して、静物をモチーフに制作する。

課題の概要

○通信授業課題「静物」

1-1 植物、食物の自然形態に器物、布等を組み合わせた静物をモチーフにクロッキーする。

1-2 植物、食物の自然形態や器物、布等を組み合わせた静物をモチーフに木炭デッサンする。

1-3 植物、食物の自然形態に器物、布等を組み合わせた静物をモチーフとした油彩を制作する。

○面接授業課題「静物を描く」

1-1 植物、食物の自然形態に器物、布等を組み合わせた静物をモチーフに木炭デッサンする。木炭紙。描画材は木炭。

1-2 植物、食物の自然形態に器物、布等を組み合わせた静物をモチーフに油彩で制作する。20号キャンバス。

授業計画

[通信授業]

学習指導書『絵画 I・II 平成 29 年度』の「絵画 I」を参照。

教科書『絵画—素材・技法—』の第 1 章「デッサン・油彩」と第 2 章「油彩画の素材・技法と表現」を参照。

教科書『絵画—アートとは何か—』の第 1 章「美術の成り立ち」等を参照。

[面接授業]

第 1 日	午前：前提講義及び制作	午後：制作（木炭デッサン）
第 2 日	午前：制作	午後：制作
第 3 日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評
第 4 日	午前：前提講義及び制作	午後：制作（油彩）
第 5 日	午前：講義・制作	午後：制作
第 6 日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1 年次

[履修条件] なし

[備 考] 油絵学科絵画コース指定科目。

絵画コース進学希望者は 1 年次に履修すること（2 年次編入学生は 2 年次）。

絵画コース 3 年次編入学生は必修ではないが、履修することが望ましい。

スクリーニング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：『絵画—素材・技法—』（武蔵野美術大学出版社 2002 年）

『絵画—アートとは何か—』（武蔵野美術大学出版社 2002 年）

学習指導書：『絵画 I・II 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）